



くらしき
マメ知識

ごぼうとプリンの幸せな出会い… 「連島ごぼう」を使った、逸品あります！

このたび、GI保護制度に登録された「連島ごぼう」。倉敷市内には、連島ごぼうを使った逸品がたくさんあるのをご存じですか？

例えば、プリンにごぼうエキスを加えた「倉敷牛蒡ぶりん」は、ごぼうの風味だけを残したなめらかな食感で、全国お取り寄せランキング（プリン部門）で入選したり、テレビ番組で取り上げられたりと、その人気は全国に広がっています。

各商品自慢の「絶妙」な味わいを、ぜひ一度お試しください！



倉敷の「今」を伝えるニュースレター

2016年12月吉日発行

クラシキ文華新聞

Vol. 7

第7号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市——。このまちでは、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出されています。例えば、町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている、倉敷美観地区。例えば、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」。例えば、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」。このまちにあるのは、歴史や伝統だけではなく！そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をとっぴりとお伝えする『クラシキ文華新聞』第7号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。



Artist in Residence
Kurashiki, Ohara

ARKO
2016

アーティスト・イン・レジデンス
倉敷 大原

特集



倉敷の大原美術館が行う、若手育成支援事業 ARKO (アルコ)「Artist in Residence Kurashiki, Ohara (アーティスト・イン・レジデンス 倉敷、大原)」は、大原美術館が選出した若手アーティストが倉敷に滞在しながら作品を制作するレジデンスプログラムです。14 回目となった ARKO2016 に、東京出身で、現在は名古屋市で創作活動を行う画家・名知聡子(なちさとこ)さんが招聘されました。

名知さんは、巨大なキャンバスに写実的な人物画を描く作風で、そこに「想いを寄せる人=好きな人」を表現してきました。「好きな人」は絵を描くための原動力。ここ数年は、その人がいなくなっ



©Satoshi Nachi, Courtesy of Koyama Art Projects

たら絵が描けなくなるのではないかという漠然とした不安や、描かれた自画像が自立して、別の人格を持つ人物へと変化してきていることを感じていました。「自分を描いているけど自分じゃない、好きな人でもない、家族でもない。いつも作品のそばにいる『この子』は誰なんだろう…」。



▲無為村荘

制作のため名知さんが倉敷を訪れたのは 2016 年 7 月。大原美術館の礎を築いた洋画家・児島虎次郎の旧アトリエ「無為村荘」で、約3カ月間に及び滞在制作が始まりました。初めて倉敷を訪れたのは 2015 年の日帰り旅行。「大原美術館と倉敷美観地区に行ったんですけど、1日じゃ足りないくらいおもしろかった。アートが根付いている、すてきなまちだなんて」。

編集後記

今回の特集はいかがでしたか？アーティストのアトリエにお邪魔し取材するのは初めての経験。作品と、また自分自身と対話しながら楽しそうに筆を入れる名知さんの横顔は、とても刺激的でした。「楽園への追放、すごい絵です！倉敷市公式インスタグラムが始まりました。「みんなが切り取った倉敷の今」をぜひ見に来てください！」(安藤・村上)

WEBもチェック！
クラシキ文華

<http://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/>

クラシキ文華

検索



倉敷市公式 Facebook
<https://www.facebook.com/KurashikiCity>



倉敷市公式 Instagram
https://www.instagram.com/kurashiki_city/

クラシキ文華新聞 Vol.7
平成 28 年 12 月吉日発行
【編集・発行】
クラシキ文華新聞編集部
(倉敷市くらしき情報発信課内)
〒710-8565
岡山県倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3061
FAX086-426-4095
pubinfo@city.kurashiki.
okayama.jp

そして、制作の舞台となる「無為村荘」を訪れてからも大きな刺激を受けたといいます。彼女が描きたいと思ったのは、今まで描いてきた人物ではなく、無為村荘の風景でした。「無為村荘は、森のように緑が豊かで、創作意欲をかきたてる場所。名古屋にあるアトリエと違って、天井が高く、自然光がととてもきれい。一日の描く時間が足りなくて、『あれもこれも描きたい!』って気持ちになるんです。また、画材も使い慣れたアクリル絵の具から油絵の具にし、描く対象も画材も変えてのチャレンジとなりました。

作品の中にいつも現れ、名知さんが『この子』と呼ぶ人物は、今回の作品では、人影のような形となって風景の中に姿を現しました。「早くこの子に会いたい!」と、その想いをぶつけるように絵筆を重ねていく名知さんー。



3カ月という期間を経て完成した、P300号(縦197cm×横291cm)の大作『楽園への追放』。彼女が模索し見つけ出した「新しい自画像」でもある初めての風景画は、描きたいという衝動のままに表現された、幻想的な作品に仕上がりました。「今回の作品は、倉敷で出会った美しい風景や人、無為村荘の豊かな自然に心が浄化されて、優しい絵になったと思います。このARKOの滞在制作で、子どもの頃のキラキラした感情を思い出せたし、世界ってこんなにきれいだったんだって気づいたんです。これまでは好きな人がいて、ずっとブレターを書いているような感じで、その人との関係性を描いてきました。好きな人がいるだけでよかったし、今いる世界から動きたくもなかった。ずっと変化しなくなかったんです。それが、いつも自分のそばにいてくれる不思議な『この子』の存在に気づいて描き続けたら、表現方法も広がって、自由な世界に解き放たれた。『追放された楽園』はとてもきれいだったんです」。

今回のARKOで、目の前に広がる倉敷の風景が、「絵を描く楽しさ」を思い出させてくれたと彼女は話します。「無為村荘という最高のロケーションで描くうち、『この子』に出会えました。『この子』と一緒に過ごすことができ、ドキドキが止まりませんでした。一番描きたいものが描けたのは今回が初めてです。これからも、私とずっと共鳴し続ける『この子』を見てほしいと思います」。

『楽園への追放』は、2016年10・11月、大原美術館で公開されました。ARKOへの参加が、これまでの殻を破り、新しい世界へと踏み出すことにつながった名知さん。アーティストとして大きくステップアップした彼女が表現した「倉敷」と『この子』は、多くの来場者の目を惹きつけていました。



©Satoko Nachi, Courtesy of Koyama Art Projects

#クラシキブンカ

倉敷のステキな写真と思い出
Instagramから投稿しよう!!

■ **クラシキ文華Instagramページ**
<http://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/instagram/>

■ **倉敷市公式Instagram**
https://www.instagram.com/kurashiki_city/

SNSの中でも、特に若い女性に人気があるInstagram。Instagramの写真投稿をきっかけにお店に行ったり、旅行に行ったりという事例も増えてきています。倉敷に関する投稿をサイトに表示することで、さらなる倉敷の魅力発信につなげていきます。

倉敷市シティセールスサイト「クラシキ文華」で、Instagramによる利用者参加型の情報発信を開始しました。サイトに、倉敷に関連するハッシュタグ「#クラシキブンカ」などを含む投稿を表示する機能を追加し、ハッシュタグ「#クラシキブンカ」での投稿を市内外に呼び掛けていきます。

クラシキのニュース

県内初!ごぼうでは全国初!

「連島ごぼう」ブランドがG I 保護制度に登録されました!

12月7日、連島ごぼうが、岡山県内で初めて地理的表示保護制度(G I保護制度)に登録されました。G I保護制度とは、地域で育まれた農林水産物などの伝統と品質基準を守るため、地域の特産品の名称(地理的表示)を、国が知的財産として保護する制度です。タ張メロンや神戸ビーフなども登録されています。



肌が白くあくが少ないという、他にはない特長を持つ連島ごぼう。東高梁川廃川地跡のミネラルが含まれた水はけの良い土壌と生産者の努力が相まって生み出されています。産地と結び付いた品質に、国のお墨付きを得たことで、倉敷かさや農業協同組合倉敷営農センターでは、より一層の品質向上に取り組んでいきます。



◀GIマーク。GI保護制度に登録された産品のみが使用を認められ、他の産品との差別化が図られます。

クラシキのイベント

これからの季節にぴったりの花言葉を添えて…
船穂スイートピー記念日のイベント

スイートピーの全国有数の産地、倉敷市船穂地区。岡山県は、スイートピーの出荷生産量全国第3位で、船穂地区の生産量は、その8割を占めています。南向きの傾斜面を有効に活用した施設で栽培するため、十分な日照の確保と効率の良い換気が行え、品質の高い花を安定的に出荷しています。船穂地区のスイートピーは、大きな花弁としっかりとした軸を持ち、美しさと花もちのよさが特長。花の色は、なんと約50色も!



1月27日は「い〜ふなお(良い船穂)」と読む語呂合わせから、船穂スイートピー記念日と定められていて、毎年記念日に合わせ、PRイベントを開催しています。「門出」や「旅立ち」などの花言葉を持つスイートピーは、これからの季節にぴったり!

- ◆スイートピーが当たる「**展示・人気投票**」…1月27日(金)~29日(日)
- ◆**スイートピーフラワーアレンジメント講座**…1月27日(金)
- ◆栽培ハウスでの「**スイートピーものしり講座**」…1月29日(日)

イベント	日程	場所	内容
「倉敷市」50周年記念事業 倉敷雛めぐり	2月25日(土)~ 3月12日(日)	倉敷市内の商店街・ギャラリー・ 旅館・ホテル・文化施設など	本格的な段飾りや内裏雛、御殿雛、木彫り・陶器・備前焼の雛、江戸時代の古今雛、地元幼稚園児による創作雛など
「倉敷市」50周年記念事業 倉敷春宵あかり	2月25日(土)・3月4日(土)・ 11日(土)・18日(土)・19日(日)	倉敷美観地区一帯	和の明かりが町並みを彩る。和傘あかり・あんどん・願いあかり・スイートピーあかり・プロジェクションマッピングなど

イベント情報は、[f](https://www.facebook.com/KurashikiCity)倉敷市公式 Facebook (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています!